

インターネット 「岸和田市立浜小学校」 校長室だよりで、バックナンバーがみられます。

校長室だより



H25 (2013) 年度 NO.5

岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

今年も「素晴らしい運動会」を ありがとう！保護者のみなさん、ご声援 ありがとうございました。

今年も子どもたちが主役で輝き、「子どもの、子どもによる、子どものための運動会」であったと感じ、子どもたちを誇らしく思いました。

今年の運動会の目標である、「練習も本番も協力し合って力を出し切り、くいなく楽しい運動会」は達成できたと思っています。

子どもたちは、生き生きした笑顔で、「競技・演技」「係活動」に取り組み、どの学年の子どもも一生懸命でした。そのひたむきさに心を打たれました。応援団も、やる気が前面に出ていて実に堂々としていて素晴らしかったです。

「競技」は学年を追うごとにたくましくなっていて、成長を感じることができました。

「表現」を少し振り返ってみましょう。幼稚園のラーメン体操ではメリーゴーランドになったり、パルーンになったりで可愛いさの中に表現力が光っていました。1・2年の「ちびっ子忍者」はエアロビクス忍者のようになりリズムと難しい手拍子、さすが、浜っ子でした。3・4年生の「響け！七町の絆！！」では、鳴り物で、町会長さんや青年団のお兄さんに大変お世話になり、浜の特色を生かした「だんじり」と、伝統の漁業にも関連した「南中ソーラン」を見せてくれました。お年寄りの方々の喜びもひとしおでした。

5・6年「浜っ子2013」では、NHKの朝の連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマ曲を見事に「ピラミッド立ち上げ」で表現し、ボラーレの曲に合わせた「人間おこし」も最高でした。保護者の方の「おー！」という歓声が運動場に響いていました。各係もきびきびと動き、先生の手を借りない伝統の運動会を今年も創り上げることができました。

本当に素晴らしい運動会をありがとう。

子どもたちを主役にするために裏で支えた先生たちにも拍手です。

ありがとう。

また、PTA企画委員会のみなさんを初め広報委員会・保健補導のみなさんにはテントの片付けや、写真、自転車整理などで大変お世話になりました。

また、保護者のみなさんにもたくさんのご協力・ご支援・ご声援を賜り深く感謝申し上げます。

お陰さまで「子どもが主役の運動会」を創り上げることができました。



保護者の方からの感想を紹介します。

・どの競技もよくできていたと思います。特に高学年の組体は想像もつかないくらい素晴らしいと思いました。“一気立ち”もすばやくできていたし、“人間おこし”なんか鳥肌が立つくらいのびっくりする出来だったと思います。とても感動しました。

・組体操、ほんとに感動しました！中でも“人間おこし”は素晴らしかったです。ほんと信頼と強い絆の表れですね。倒立など家で練習は、ぎこちなく心配だったけれど、本番ではびしっと決め、すごく成長を感じました。

・先生方、本当に熱心に指導していただきありがとうございました。先生方のお陰で子どもたちの力が発揮でき、すごく良い運動会を見せてもらい感動しました。ありがとうございました。……

子どもたちと先生が協力して創り上げた運動会をプラスの評価していただき感謝に堪えません。組体操の退場の場面は、「正面のテントだけじゃなくて見てくれた・応援してくれた低学年の人たちにも『礼』をしたいという実行委員をはじめ子どもたちの気持ちがうれしかった」と学級通信にありました。私もまったく同感です。そして、そのように行った素晴らしい子どもたちです。

修学旅行も充実していました！



10月11日(金)～12日(土)に修学旅行に行ってきました。初日はパルケで思いっきり楽しみ、夜もルールを守って、マネージャーから「食事のマナーが素晴らしい」と昨年に続いて褒められました。翌日は“手こね寿司”と“アジの開き”づくりを体験しました。さすが、浜の子どもです。誰一人として嫌がらず、包丁を持って内臓を取り出し二枚におろすのでした。この姿こそ生きる力だなと感心しました。学力はペーパーだけでなく生活力が伴ってこそ発揮されるものです。地に足がついた子どもたちの姿に「たいしたもんや！」と感動しました。

この他に、バスの中で全員で合唱する姿、それも二部合唱、こんな経験は長い教師生活でも珍しい経験でした。学校生活の充実ぶりが修学旅行にあらわれていると思いました。学を修めるに値するものでした。

5年『漁業体験活動』実施

ありがとうございました！

今年も岸和田漁協の全面的なご協力のもと10月19日(土)に漁業体験活動を実施しました。漁の休みの日に子どもたちのために船を出していただき、底引き網漁の実施と新鮮な魚料理をふるまっていただきました。

今年で13年目です。本当に感謝申し上げます。5年生の子どもたちにとってはどれも初めての経験ばかりですが、今年は船酔いする子どももいなくて目を輝かせていました。

水産業の学習のまとめとして、体験という形で学びも深まりました。今、子どもたちは水産業・漁業体験についての“まとめの新聞”を作成中だそうです。

子どもたちは漁業について、働く人を見てたくましさや地域に誇りを感じたという作文を書いている子もいるそうです。まさに郷土愛といえます。

保護者のみなさんもたこ飯やとん汁づくりでお世話になりありがとうございました。



子どもの作文より

…ぼくはA班の1番始めて初めて船に乗りました。海にゴミがいっぱいあって、死んでる魚も浮いていて気持ち悪かったです。漁師さんは3人いました。魚が取れた時、(見ると)ゴミがいっぱいついてて(網に)ゴミで生産量(漁獲量)が少なくなったと思いました。ゴミもあったけど魚もいました。大きい魚と大きいカニがいっぱいいました。小さい魚もいました。小さい魚は海にかえました。エイもとれました。もどってきて、昼ごはんは、さしみとタコめしとぶた汁でした。とても楽しかったです。しかも、社会の勉強になってよかったです。